

地域事業に多くの支援と助成を



広丘吉田 村田 善彦さん

地域づくりは行政支援のもと、地区、各団体、市民が連携し取り組む自主的活動です。地域は今まで先輩の皆さんが築いてきた素晴らしい文化、歴史があり、これらを継承し発展させていかなければなりません。私の住む吉田地区では、地域活性化支援事業で市の補助を受け、休日には区民の皆さんが参加し地区内の4つの公園をより利用しやすい、安全で魅力ある公園にと長期計画で整備を進めています。しかし、この事業に限らず、地域づくり活動は毎年地区の負担増になっています。さらに、高齢化と人口減少、地域事業活動への参画意識低下など様々な問題も多く、行政と地域の今以上に連携した活動が必要です。安全で安心な暮らしができる明るい夢ある地域づくりに、住民の参画を更に促す為にも、行政のさらなる支援と助成をお願いします。

市民の声

より具体的な行動指針を



広丘堅石 宮野 三智子さん

テレビ画面が赤とか黒に突然変わり、聞いたことのない警報音が鳴り響いた。北朝鮮のミサイル発射を知らせるアラートだと知った。上空通過の速報を見るまで、ただただ言い知れぬ恐怖と不安のまま、じっとしていることしかできなかった。翌月もまたアラートが鳴った。その日は子供達が家を出た後。どうしよう、どうしよう…増幅する心配と不安。全力疾走で帰宅した子供達の顔は恐怖で蒼ざめ、漠然とした不安がしばらく続いた。師走に入っこの真夜中、緊急地震速報のアラートと同時に地震がきた。これまた怖さと不安で何もできなかつた。幸い何の被害も無く、ほっと安心することができたが、緊急時にも落ち着いて行動できるような、具体的な行動指針があるといい。平穏な日々が続くことを願っている。

市議会レポート

第9回議会報告会 高校生との意見交換会を開催しました

今年度は市内の高校3校に出向いての意見交換会で、7月に続き、10月と11月は2校に出向きました。4班に分かれてテーマに沿ってワークショップを行い、最後に生徒の皆さんによる班ごとの発表があり、多彩でフレッシュな意見をいただきました。一部を掲載します。
《住みやすいまちづくり》では、身近な視点から「道路整備や街灯を増やして安全に」との意見、将来的な視点から「子育てしやすい街」「年代問わず参加できる行事がある街」との意見が出されました。また、「18歳選挙権」では「知識不足からの低投票率もあるので学ぶ場やわかりやすい工夫が必要(マンガの活用もどうか)」「市議会の仕事を具体的に知りた」との意見がありました。

塩尻志学館高校 高校が初めて市内の企業に出向いて行った《しおじり学》で気づいたことでは「会社は社会の変化で進化している」「工業でも女性が活躍していた」「小さな会社だが大手企業や世界と繋がっていた」など、直接触れての気付きや感想を聞くことができました。また《住みたい街》についてはショッピングモール(中学生も楽しめる)を望む声と、商店街復活の声の両方が出されました。3校からいただいた意見は、これからまとめをして全議員で共有し、委員会や本会議など、今後の議員活動に生かしていきたいと思



意見交換会の様子

議会あれこれ

- ◆市のまちづくり政策は様々な課題に影響を及ぼす。小中学校の通学区域や農村部の住民の生活など多方面からの視点で議論される。中心市街地の活性化、小さな拠点整備、駅周辺の利便性を生かす等、企画力が問われている。
- ◆12月定例会は、市民生活に直結した質疑が多かった。除雪は市内36業者が献身的に担っていることを知り、介護保険料は第7期は据え置き方針でとりあえずひと安心。国保税については県の仮算定でやや値上げになるとのことで、家族の健康が何よりを実感した次第。
- ◆通学区域の変更問題について議論になった。教育委員会が決めることで、議会には直接の権限はない。だが、今議会では地域の多様な声を踏まえ議論し、それを受けての住民アンケートの実施となった。将来を見据えた議論を大切にできる議会であり続けたい。

議会基本条例推進委員会 広報部会

- ◎ 篠原 敏宏 ○ 小澤 彰一
 - 永田 公由 牧野 直樹
 - 山口 恵子 平岡 正治
- ◎ 部会長 ○ 副部会長

3月定例会の予定

2月22日	開会日
3月 1日	一般質問
2日	
5日	
6日	委員会
7日	
8日	
9日	
12日	
13日	
19日	

会議の日程は変更になる場合があります。

本会議を生中継しています!

テレビ松本ケーブルテレビの「塩尻市行政チャンネル(J706)」で市議会本会議の生中継を行っています。本会議開催の一週間後に録音放送も行っています。また、市議会ホームページでもインターネットによる生中継・録音放送を行っています。ぜひご覧ください。